

7-2 地震予知研究計画にもとづく地磁気永年変化精密観測, (1980年10月~12月および1981年1月~3月)

Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of Earthquake Prediction Research, October-December, 1980 and January-March, 1981

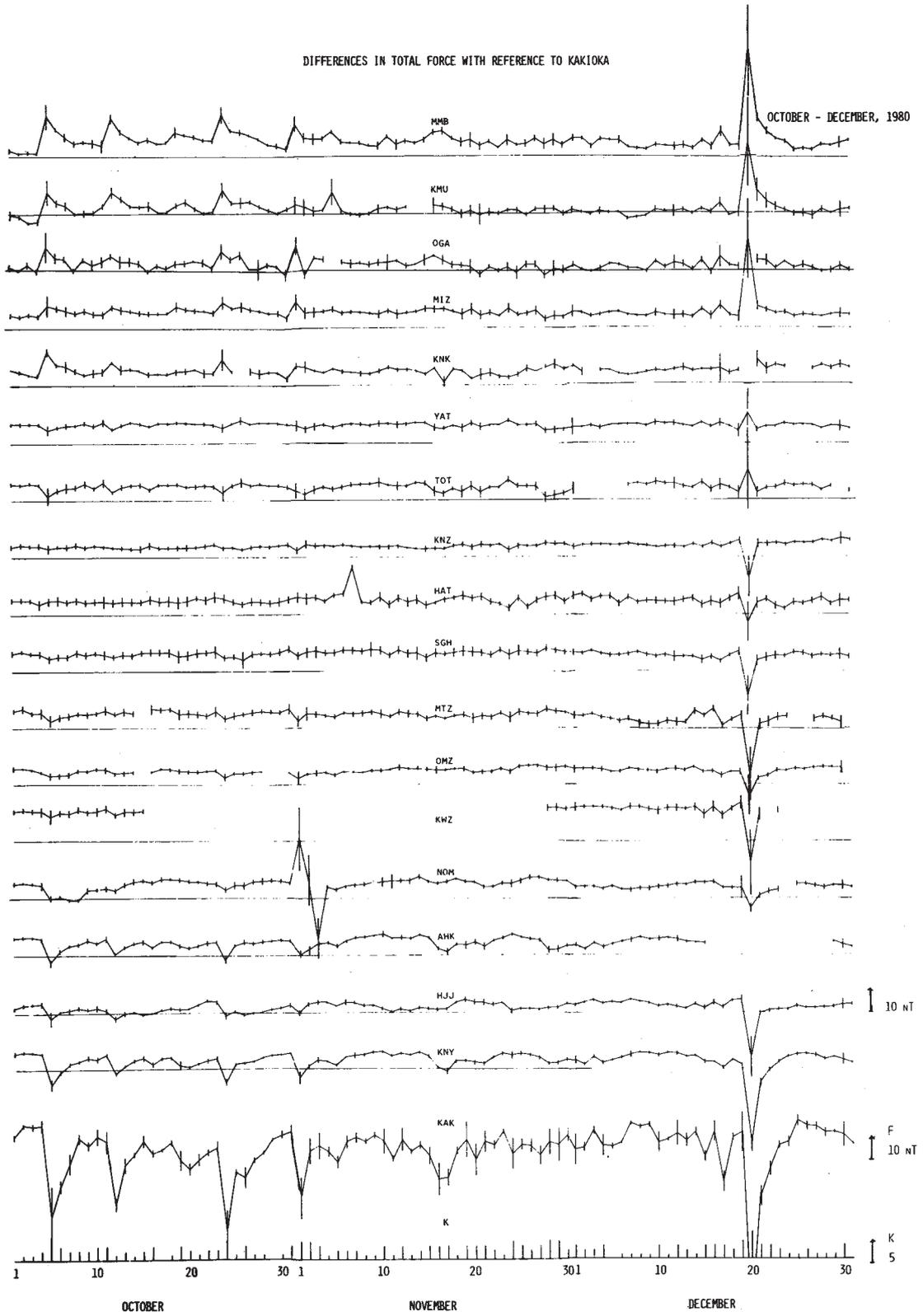
地震予知研究計画・地磁気研究グループ

Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

1980年10月~12月および1981年1月~3月の観測結果をまとめて報告する。なお、観測点は1981年より伊豆の戸田(東工大)が追加となり、合計19ヶ所となっている。

第1図および第2図は柿岡を基準とする各測点の全磁力夜間値差の日平均値および標準偏差(男鹿, 金華山は5個, 他は15個平均)を示したものである。各図の下段に対応する時間の柿岡における全磁力変化およびK-指数が示してある。

この期間中は磁気嵐等による外部要因による変動を除き、顕著な異常は見られない。なお、野増の11月1日~3日は測器の異常による変動と思われる。



第 1 図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1980 年 10 月 ~ 12 月

Fig. 1 Day-to-day change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from October to December, 1980.

